

「都立の大学を考える都民の会」設立趣意書

2003年8月以降、都立の大学をめぐる動きは大きく変わってきました。東京都の大学管理本部は、これまで都立の大学と大学管理本部との間で積み重ねてきた議論や合意を一方向的に破棄し、「新しいタイプの大学づくり」を強行に進めようとしています。

私たちは、現在のような「大学改革」の進め方に、都民として強い憤りを感じています。このように強引で非民主的な「改革」の進め方に、私たちは反対します。

もちろん私たちは、都立の大学が現状のままでもよいと考えているわけではありません。改革のプロセスがもっと都民に開かれること、その中で都民の声に大学は誠実に耳を傾けて欲しいという思いを持っています。

しかし現在進められている「改革」は、「都民の声」を口実に進められながら、その実都民の声を全く無視して進められています。都立の大学に対する本当の「都民の声」はどのようなものな

のか、そのことを私たちは、様々な立場の都民と共に丁寧に考えていきたいと思えます。そのためにも、現在の東京都による一方向的な「改革」を押しとどめる必要があります。

私たちは、都立の大学に、将来に対する様々な不安を抱えながらも、学問研究への取り組みを通じて社会に貢献しようとしている教員や院生、あるいは大学での学びを通じて自分自身の生き方を模索しようとしている学生、毎日の事務作業を通じて大学を支えている職員がいることも知っています。彼らはそれぞれの立場から、都立の大学を守るために様々な取り組みをしています。私たちはこのような取り組みを大学の外から応援していくとともに、都民として率直に現在の大学に対する意見・要望を伝え、都立の大学を真に「都民のための大学」とするための取り組みを進めていきたいと考えています。

2003年11月1日

2004年1月現在 呼びかけ人

池上洋通(自治体問題研究所理事・主任研究員)

金子ハルオ(東京都立大学名誉教授)

清水 誠(東京都立大学名誉教授)

中馬清福(元朝日新聞論説主幹)

暉峻淑子(埼玉大学名誉教授)

山口昭男(岩波書店代表取締役社長)

賛同者募集中

趣意書に賛同していただける方を募っています。振込用紙の通信欄に、お名前・ご所属、お名前・ご所属の公表可否、今後のご連絡としてよろしければ電子メールアドレスをご記入のうえ、振込をお願いいたします。

【賛同金】 個人1口1000円、学生1口500円、何口でも
団体1口10000円、何口でも

【郵便振替口座】 00190-5-481324

【加入者名】 都立の大学を考える都民の会